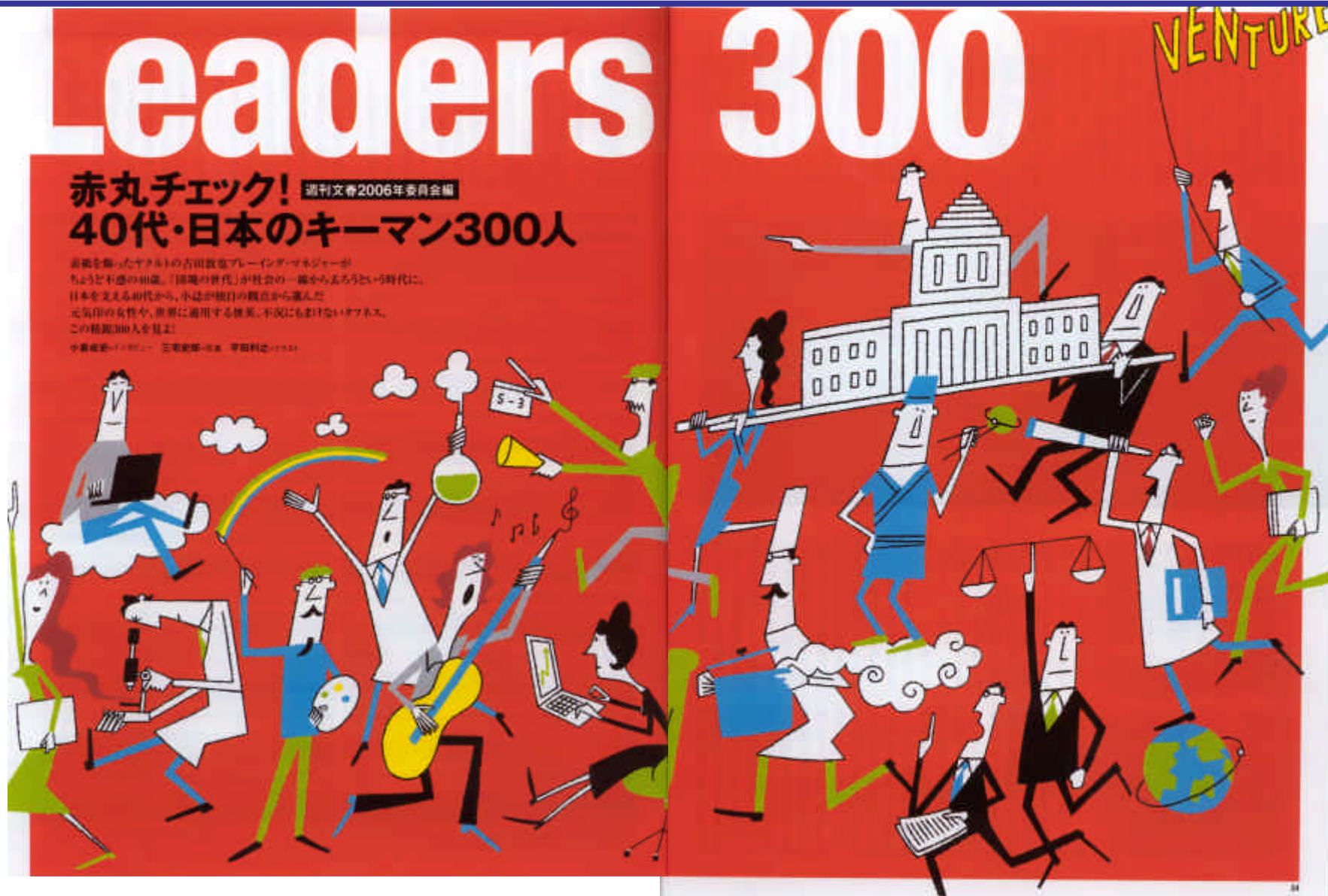


40代・日本のキーマン300人 科学者・技術者部門に秩父先生が選ばれる



40代・日本のキーマン300人 科学者・技術者部門に秩父先生が選ばれる

科学者・技術者

プロ野球と同じく
世界の檜舞台をめざす

40代の科学者・研究者として
ますます思い浮かぶのが、民間
から初のノーベル化学賞を受
賞した田中耕一(46)。少し
変わったところでは、宇宙飛
行士の野口聡一(40)と、国
際的にも認知された人材を輩
出している。

いまや、スポーツの世界に
たとえていうと、野茂やイチ
ロー、松井秀喜がメジャー・
リーグに挑戦して成功したよ
うに、科学者の中では、とれ
だけ世界と対話できるかが成
功のカギとなっている。

「理系こそ世界に出て行かな
いと話にならない」とある科
学者という。フリー・エージ
メントを宣言してメジャー・
リーグに挑戦する選手が増え
て、日本のプロ野球の衰退を
危惧する声もあり、同じよう
に人材の流出から将来日本の
研究レベルの空洞化が心配さ
れるが、あまり悲観しすぎる
こともないのではないか。

かつてに比べて研究費の増
加など、格段に環境はよくな
っているが、それだけに責任
も重い。ナノテクノロジーを
はじめ、日本が世界に誇る技
術や研究に期待がかかる。

名前	組織	寸評	名前	組織	寸評
相田卓三(49)	東京大学	世界一細い糸を作った	田原太平(44)	理化学研究所	超高速の分解分光装置で新しい分子現象を解明
阿部彰子(42)	東京大学気候システム研究センター	気候システム解明を通じて地球史を研究	秩父重英(42)	筑波大学	青色LEDの謎を解明
阿波賀邦夫(46)	名古屋大学	有機磁性体を世界に先駆けて開発	富田優(40)	マサチューセッツ工科大学	世界最高の磁場を作る高温超伝導材料を開発
石井裕(49)	マサチューセッツ工科大学	タンジブル(触覚できる)インターフェイスを開発	富田勝(47)	慶應大学 先端生命科学研究所	コンピュータで細胞の全体像をシミュレート
石浦一成(44)	クラレ	曲がるアクリル樹脂の開発をリード	中谷和彦(46)	大阪大学 産業科学研究所	有機小分子が遺伝子のミスマッチを特異的に認識することを発見
石山和志(42)	東北大学電気通信研究所	カプセル型内視鏡を体外から操作するのに成功	中谷喜洋(47)	ハーバード大学	がん抑制に関わるたんぱく複合体の機能解析をすすめる
市村厚一(43)	東芝	光で駆動する量子コンピュータを考案	永田晴紀(40)	北海道大学	民間と共同してロケット開発
伊藤公平(40)	慶應大学	全シリコンの量子コンピュータ作りをめざす	中福雅人(45)	東京大学	中枢神経系の再生と脳疾患治療への応用をめざす
岩井俊雄(43)	東京大学先端科学技術研究センター	心地よいデジタルメディアを追求	野田進(45)	京都大学	光を制御できるフォトニック結晶の立体構造を作る
岩佐義宏(47)	東北大学金属材料研究所	フラーレンを中心とするナノカーボン材料の開発	平野靖史朗(48)	国立環境研究所	微小粒子物質などの健康への影響を調べ続ける
岩田洋夫(47)	筑波大学	触覚など体性感覚をもつメディアの研究	平岡淳司(48)	金沢工業大学	常温で地磁気の10万分の1を検知する高感度センサーを開発
大澤敏(44)	金沢工業大学	抗菌性をもつ生分解性プラスチックを開発	深水昭吉(46)	筑波大学	生活習慣病に関連する遺伝子を動かせる「転写因子」に取り組み
岡野栄之(46)	慶應大学	神経幹細胞の固定と中枢神経の再生に関する研究	藤田誠(46)	名古屋大学	新しい集合性分子システムを設計
榎本辰男(43)	大阪大学	植物ホルモン・サイトニンの合成酵素と受容体の発見	船津高志(47)	東京大学	一分子生理学(ナノバイオ)を世界に先駆けて開発
加藤茂明(45)	東京大学	細胞にあって、特定の物質を感知する受容体の研究	古市昌一(47)	三菱電機	数人で同時操作する協働型コンピュータをめざす
金子清俊(47)	国立精神・神経センター 神経研究所	BSEをはじめとするプリオン研究	古澤明(43)	東京大学	量子コンピュータにつながる量子テレポーテーションを達成
鎌田俊英(43)	産業技術総合研究所	印刷で作れるディスプレイの研究	堀井洋一(40)	日立製作所	水晶型表示装置を開発
川崎雅司(44)	東北大学金属材料研究所	全金属化合物をエレクトロニクス材料として積極的に活用	真鍋真(46)	国立科学博物館	中生代の爬虫類・鳥類の進化の研究
北野宏明(44)	ソニーコンピュータサイエンス研究所	たんぱく質や遺伝子などの複雑な相互作用を研究	丸山茂夫(45)	東京大学	アルコールを使った単層カーボン・ナノチューブの低温合成法を開発
北村俊雄(48)	東京大学医科学研究所	レトロウイルスを使ったたんぱく質同定法を開発	光吉俊二(40)	AGI	人間の感情を把握する音声認識システムを開発
五條理志(41)	埼玉医科大学 総合医療センター	再生医療を世界に先駆け実現	三宅正人(40)	産業技術総合研究所	100種の酵素で作った新製チップで新薬候補探索の高速化をめざす
小谷元子(45)	東北大学	「結晶格子」と「ランダムウォーク」の関連を数学的に証明	宮地充子(40)	北陸先端科学 技術大学院大学	量子化技術のエキスパート
近藤勝義(42)	東大先端科学技術 研究センター	結晶粒子微細化でマグネシウムの強度を向上	村上洋一(48)	東北大学	電子の軌道自由度を調べる新型の研究手段を世界で初めて開発
西道隆臣(46)	理化学研究所	アルツハイマー病の原因たんぱく質研究の第一人者	茂木健一郎(43)	ソニーコンピュータサイエンス研究所	脳科学研究でマスコミでも活躍
佐竹健治(47)	産業技術総合研究所	地震と津波の「予知地区」をめざす	森郁恵(48)	名古屋大学	線虫類から人間の神経回路の解明をめざす
芝清隆(46)	逸研研究会逸研究所	たんぱく質の新しい合成法の開発をめざす	森田浩介(48)	理化学研究所	113番目の新元素を発見
下村伊一郎(42)	大阪大学	脳筋細胞の多機能性と生活習慣病発症メカニズムの解明をめざす	柳沢正史(44)	テキサス大学	睡眠と食欲に関わる「オレキシン」を研究
白鳥世明(42)	慶應大学	ナノ単位で厚さをコントロールできるプラスチック薄膜を開発	山崎健二(45)	東京女子医科大	国産初の人工心臓を開発
関口智嗣(46)	産業技術総合研究所	多数のコンピュータをつなぐグリッド・コンピューティングで日本を率いる	山中伸弥(42)	奈良先端科学技術 大学院大学	初回経分化や癌抑制を調節する因子の発見と再生医療への応用
高木信一(46)	東京大学	半導体内部の電子の挙動を調べ新型素子構造に道を開いた	横田隆徳(46)	東京医科歯科大学	RNA(リボ核酸)を使って遺伝子の働きを抑えるRNA干渉の医療応用
高橋敏(41)	NTT サイバースペース研究所	高精度の音声認識技術を開発	渡辺博之(45)	玉川大学	LEDを使った野菜工場のシステムを開発
田畑泰彦(46)	京大再生医学研究所	多彩な再生医療材料開発			